

ふろしき大へんしん！！

～ふろしきのよさを知ろう～

2年 国語

「ふろしきは、どんなぬの」

利用指導・資料の活用

ねらい

○実際に、いくつかの結び方や包み方をすることにより、教科書ワード「べんりなぬの」「まほうのぬの」についての意味理解ができる。

○読み聞かせやブックトークを通して風呂敷について関心を持ち、様々な形に姿を変える風呂敷のよさに気づくことができる。

学 習 展 開

- ① 絵本「いいものもらった」を読み聞かせ、大活躍する風呂敷への興味を高める。
- ② ブックトークをし、風呂敷の名前の由来・使い方を知らせる。
- ③ 風呂敷の包み方・結び方の実演を行い、様々な形を変える風呂敷のよさに気づかせる。
 - ・おつかい結び ・エコバッグ
 - ・びん包み ・すいか包み
 - ・レッスンバッグ包み
- ④ 風呂敷を実際に使って、包み方・結び方を楽しみながら、風呂敷は「べんりなぬの」「まほうのぬの」であることを理解する。
 - ・びん包み ・レッスンバッグ包み



レッスンバッグ包みを覚えた子ども達は、早速その日、絵本バッグの代わりに絵本を入れて持ち帰りました。(担任談)

◆司書教諭と学校司書の関わり

(事前)

- 学校司書は、風呂敷に関する資料を準備する。
- 司書教諭は、担任に風呂敷の準備を依頼する。

(本時)

- 学校司書は、絵本の読み聞かせをする。
- 司書教諭は、ブックトークを行い、風呂敷の名前の由来・使い方を知らせる。
- 学校司書・司書教諭それぞれに、風呂敷結び方の実演を行ったり、児童の支援にあたりたりする。

★指導のポイント

- ◆ 児童一人一人に風呂敷の結び方を体験させることが大切なので、家庭に呼びかけ、全員が、風呂敷(バンダナ)を準備しておくとうい。
- ◆ 授業後、関連図書を教室に設置すると、本時で紹介できなかった結び方・包み方についても、児童自ら楽しみながら体験できる。

資料

「いいものもらった」(小峰書店)「昔のくらし道具じてん」(岩崎書店)
「和の名前じてん」(PHP研究所)「はじめてのふろしき」(主婦の友社) 他17冊